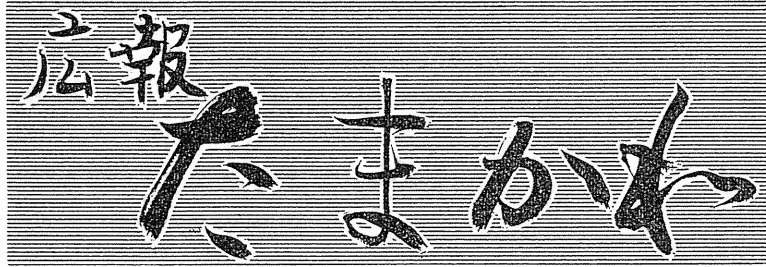


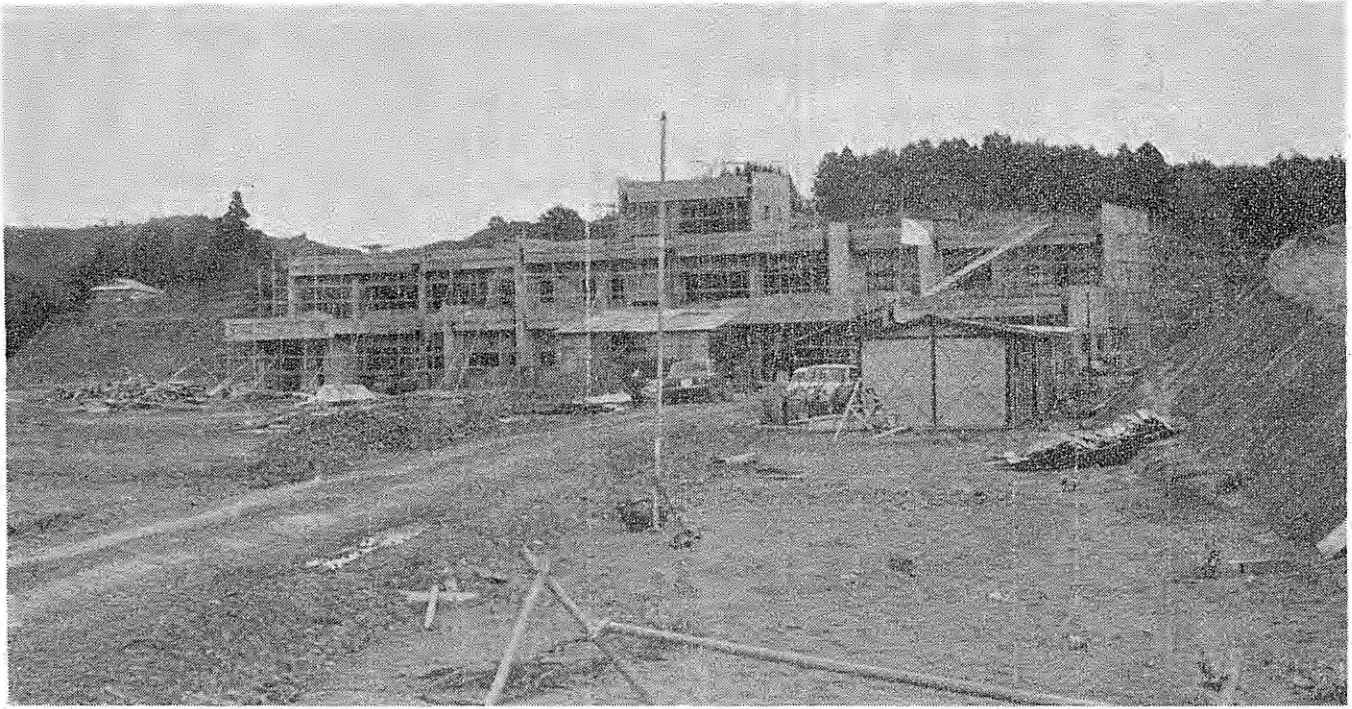
村のようす
(47年12月1日現在)

世帯数 1,419戸
 人口 7,260人
 男 3,544人
 女 3,716人
 面積 46.62km²



編集・発行
 福島県石川郡
 玉川村役場総務課

印刷所
 須賀川市加治町69
 (有) 円谷印刷



須釜小学校新築第1期工事順調に進む

本年度より2年間で改築計画の須釜小学校第1期工事は、高田工業株式会社の請負により、7月着工以来順調な工事の進捗を見、左官工事、塗装工事の一部を除き完了し48年2月28日の工期を待たずに完成が見込まれております。第2期工事については年内に発注することで準備を進めておりますので全体の完成は明年9月頃となる予定です。

十二月の行事予定表

六日	生活改良推進員研修会 (産 業 課)
〃	インフルエンザ予防接種 母子センター (二回目) (住 民 課)
七日	インフルエンザ予防接種 須釜支所 (一回目) (住 民 課)
一〇日	衆議院議員選挙並びに最高裁判所裁判官国民審査投票日 (選挙管理委員会)
上旬	民生委員協議会 (住 民 課)
〃	子牛生産検査 (産 業 課)
一三日	インフルエンザ予防接種 母子センター (二回目) (住 民 課)
一四日	インフルエンザ予防接種 須釜支所 (二回目) (住 民 課)
二〇日	母畑地区営農計画市町村別説明会 (産 業 課) 第十二回農業委員会 (企 画 室)
中旬	交通対策協議会 (総 務 課)
〃	国保運営委員会 (住 民 課)
〃	保健婦補助員会 (住 民 課)
〃	月例監査 (総 務 課)
二二日	成人病検診 (村公民館) 子宮癌検診 母子センター (住 民 課)
二四日	消防幹部会 (総 務 課)
二五日	国定資産税第三期納期限 国民年金第三期納期限 民生委員協議会 (住 民 課)
下旬	広域市町村根幹事業入札 地方税完納運動月間 二〇日～一月八日 歩行者の交通事故を なくす県民運動

道路災害復旧工事着工

四十六年災害復旧工事の本年度第二回目の入札を十一月二日に実施し左記の通り請負者が決定致しました。工事中の不便に御協力下さい。

施工場所	請負金額	請負業者
大字小高池ノ入	三六三、〇〇〇	岩谷建設
南須釜小柳作	一、三〇〇、〇〇〇	熊田建設
北須釜米年田	三二〇、〇〇〇	株式会社湯沢組
南須釜小半弓	四一八、〇〇〇	鈴木建設
青井沢	一、一〇〇、〇〇〇	鈴木建設
小高中島	六一八、〇〇〇	岩谷建設
川辺堂平	三四五、〇〇〇	熊田建設
吉宮ノ前	五三〇、〇〇〇	尾形建設
北須釜高屋敷	四四二、〇〇〇	岩谷建設
堅木石	二二〇、〇〇〇	岩谷建設
五升蒔	八六〇、〇〇〇	株式会社湯沢組
奥撫	二六二、〇〇〇	尾形建設
北須釜坂ノ下	八四八、〇〇〇	尾形建設
近館石	二二三、〇〇〇	鈴木建設
計	四二〇、〇〇〇	株式会社湯沢組
一五	六、二六七、〇〇〇	

戦没者の遺族に対する

特別弔慰金請求はお済みですか

昭和四十七年十月一日号広報たまかわでお知らせしましたが、戦没者と思われる方は早め請求書を提出されるようお願いいたします。今回の改正要旨は次のとおりです。

昭和四十七年四月一日から昭和四十七年四月一日までの間に弔慰金を受ける権利を取得した者があつかつ遺族年金等の受給権者がいたが、昭和四十七年三月三十一日までの間に遺族年金等を受けていた者(再任)さんと岩法寺の佐久

間英雄(五九)さんが選任された。十一月二十日開かれた教育委員会、教育長に矢吹政治郎さんが再任されました。

サラリーマンの税金は

年末調整で精算

サラリーマンの所得税は、給与から税金が天引される、源泉徴収制度になっており、十二月にことし一年間の税額を精算するために年末調整が行なわれます。そのためには、扶養控除申告書や生命保険料等控除申告書を給与の支払者に正しく提出してください。また、災害や盗難にあって

石井さん 厚生大臣表彰

役場住民課の石井清助さんは去る十一月十六日厚生統計功労者として厚生大臣から表彰されました。

石井さんは昭和二十年役場に勤めて以来戸籍係として専念されておられますが、人口動態調査事務もあわせて処理されておられます。このたびはこの事務の取扱が優秀であると、栄えある表彰となったのであります。又、石井さんは昭和四十四年にも戸籍優良職員として、法務大臣からも表彰を受け、二度も大臣表彰を受けられたことはほんとうにおめでたいことです。

七、水質汚濁の影響

水質の汚濁は流れ込む物質によってさまざまな影響を及ぼします。有機水銀の中毒による水俣病、カドミウム汚染によるイタイイタイ病などが代表と云えるでしょう。腐敗水から発生するメタンガスや硫化水素ガスは金属類の錆を促します。多量の有機物などは窒素過多をおこし、水稲などの生育障害をもたらすし、かんがい用水として使用できなくなります。

八、畜産公害について

農村地域における公害の主たるもので水質汚濁と悪臭に繋がっております。悪臭については人の五目に頼るためはつきりした測定方法がなく人体に対する影響もはっきりしていません。対策も立ち遅れておりますが発生源施設の改善などの指導を行い問題

公害を考へる

その4

の解決をはかっております。畜産の水質汚濁については例へば白河市の三菱製紙工場のように大量の排水がないが豚一頭の場合一日の尿汚水は約六リットルが排水されるもので十頭の成豚を飼育しているとすれば一日六〇リットルで人間の排泄物の十倍であり人間一〇〇人分の浄化設備がないと公害

騒音問題は騒音問題は大気汚染や水質汚濁にくらべて影響範囲が比較的せまいため苦情も相隣関係のものも多く都市においては深刻化しておりますが、農村地域では泣き寝入りのものが多く、感情的対立の原因ともなるので発生源となる事業所を営んでいる方は例へそれが規準を超えていなくとも防止施設を考へるべきである

教育長に

矢吹氏再任

十一月十八日をもって任期満了となった教育委員の選任が、十一月七日招集された第五回臨時議会で、矢吹政治郎

九、騒音について

騒音の規制は福島、若松、郡山、いわきの四市について

(文責・企画室宗形)

十月一日より十月十日までの間、私は光栄にも福島県の酪農青年の代表として酪農の本場、別海町にて酪農研修の機会を得、しかも懇切なる御指導と御鞭撻を賜り、酪農の本場北海道研修の決定通知が届いた時、本場の本格的な酪農のすべてを見聞しようと思ったのは当然で、特に次の様な事を勉強しようと思つた。①大型酪農経営の感覚

②多頭数飼養の管理技術 粗飼料確保と給与の問題、一頭当りの能力と授胎率の問題等。

③乳牛の改良について

①は経営②は飼養管理③は乳牛の改良と酪農の三大柱にしようと思つた。

乳牛の改良は単に一頭当りの産乳量の増大を計るばかりでなく、生産コストを低下させ子畜の販売を有利にし、かつ所得の増大と経営を合理化にしてゆくことは、酪農の新しい未来を開く一つの鍵を握るものであると思つて、以上のような事を私なりに見聞し、心に感じたままを記してみたいと思つた。

①大型酪農経営の感覚 正直言つて余りに期間が短

かくて内容まで勉強出来なかつたのが心残りでした。広大な土地と敵しい大自然の中で造り上げられた大型酪農が偉大なフロンティア精神の中で育まれ、それをバックアップする行政とのタイミン

グの良さに感心致しました。これが酪農王国の姿なのだと思つた。ただ羨しく思われてなりません。③乳牛の改良について この事については、正直言

つて期待はずれの感がしました。北海道の乳牛改良のレベルは相当高いと思つていたのであるが、放牧、乾草、ヘー

リージ、給与という理想的な体制にもかかわらず、牛が小さいし、質も余り良くないし又乳房に活力がないという観点からである。今後一頭当り

の搾乳量は四、五〇〇〜五、〇〇〇にすることは、まず牛の改良はしなくてはならないし、近い将来をうしななければ経営不振を来すのではないかと思われます。

酪農青年北海道派遣 研修に参加して

福島県代表(北須釜) 佐久間安直

ことが感じられました。この様な事は私達酪農経営者にとつては是非とも開拓し導入したい分野であります。一頭一頭の能力の把握についてはパイプライン等の使用により計量記録はなされてい

ない様であるが、これらは改良の大きな目安になるので計量はすべきではないかと思つた。

又、授胎率については内地の二、三頭飼養の農家と同じく授精師まかせの様であるがそれは酪農経営の眼目であり、滑車の様な働きもあるわけであるから精液の選定、種付時期の問題等、再検討すべ

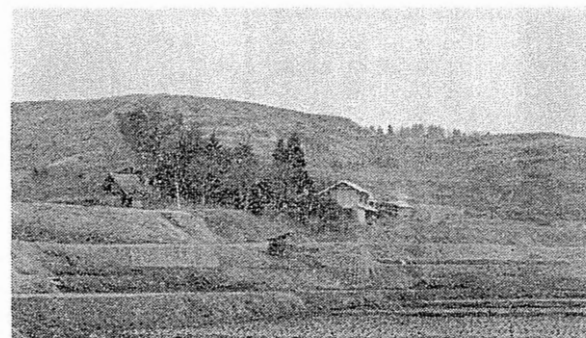
きではないかと思つた。またこの城の、一の丸、二の丸、三の丸には、近

きではないかと思つた。またこの城の、一の丸、二の丸、三の丸には、近

きではないかと思つた。またこの城の、一の丸、二の丸、三の丸には、近

きではないかと思つた。またこの城の、一の丸、二の丸、三の丸には、近

きではないかと思つた。またこの城の、一の丸、二の丸、三の丸には、近



大寺城(旧鳴城)

大寺城は、承保元年(一〇七四)石川三芦城主源太

郎光公が、その嫡男藤田太

郎光公を鳴山(現在地)に城を築いて城主としたこと

に始まる。

海町の場合、酪農の基礎が固まりこれからの本場の意味で酪農経営がなされて行くのではないかと思つた。

す。「鳴くまで待つ」時代ではありません。「鳴かせてみせる」時代であると思つた。

第十九代城主伊勢守清光公の天正十年(一五八二)に落城するまでの一〇八年間は、南須釜、北須釜、吉、山小屋

今城跡に愛宕神社あり、老松、古杉、桜樹があり、須釜村の象徴として親しまれてい

須釜の文化財 その十二

龍宝ヶ館

大字北須釜字奥撫

千五沢館(千五沢)大野修理守

龍宝ヶ館(奥撫)

川平館(川平)大野築前守

吉館(吉内)吉村民部之助

仁戸内館(仁戸内)

追分館(追分)

高屋敷館 円谷内記守

高鹿野館(高野)安倍主水守

モデル通学区を設定

子どもを交通事故から守る

県は、今年の交通安全重点施策の一つとして小学校を主な対象として、モデル通学区の設定を呼びかけております。

このため、当村においても次の二箇所をモデル通学区として設定することになりました。

このモデル通学区のねらいは、児童、生徒の交通安全を確保するため、学校を中心とした地域内の交通環境づくりと、地域ぐるみの交通安全活動を強力に推進するために設定するものです。

従いまして、この目的を十分に果たすためには、もちろん村民のみならず方のご協力を願わなければなりません。児童、生徒たちが、この地域内を安心して通学出来るように、モデル通学区内の通学路における路上駐車車の自粛と安全運転の励行についてご協力をお願いします。

又、未設定の学校の通学路においても児童、生徒の安全確保についてもご協力お願いします。

モデル通学区設定地域

- 一、玉川第一小（泉中学校及び泉保育所を含む）を中心半径五百米以内の主要通学路
- 二、川辺小学校を中心半径

五百米以内の主要通学路尚、詳しくは後日チラシにて周知の予定

読売の育英

奨学制度

読売新聞社では、働きながら、自分の力で東京およびその周辺の大学または、東京理工専門学校に通学する学生に対して、奨学資金を貸与し、有為の人材の養成につとめることを目的とした「育英奨学制度」を実施しているが、現在、その来年度の奨学生を募集中です。

詳細は、左記にハガキで問い合わせると、パンフレットと申込書を無料で送ってくれます。

東京都千代田区大手町

読売新聞社内

読売育英奨学会事務局係

TEL 〇三一二四二一

一一一



低血圧

心臓が弱ってくれば、血圧

は急激に低くなりますが、これは心臓の病気で、血圧を調整する機能に障害がおきたとき、たとえばアジソン病、シモンズ病といった内分泌の病気でも低血圧はおきます。また多量の出血で、血液量が少なくなっても血圧は下りま

す。しかし、一般にいう低血圧はこうした原因がなく、体質的に血圧が低いのをよんでい

ます。病気でなく、いわば自分の短所だというような自覚をして、克服していくことです。低血圧の人は、どうも疲れやすいといながらも、持久力があるし、こうした人にかぎってたいした病氣も少ないものです。低血圧だからといって、自分を病人扱いは禁物で、むしろ、自分を積極的に鍛えなおすような努力が必要でしょう。鍛える

昭和四十七年四月一日から玉川村においては満七十五才

村内工場だより

玉川村に生まれ

玉川村に育つ東京精工

場誘致により資本目標に第二期、第三期の設備計画を実施いたしております。完成後の工場規模は第一期分を含めて二、〇〇〇坪となり、従業員数は一八〇名となります。

主要製品と納入先

- 工場敷地五八二〇坪、工場建物四二〇坪、工場付属建物一〇〇坪従業員七〇名の規模をもちまして、昭和四十六年四月より操業を開始、昭和四十七年四月増資により新資本金三、〇〇〇万円となっており。
- 現在受注の増大に伴い更に一段の飛躍を期すべく四五、〇〇〇万円の設備資金を投入、昭和四十八年二月完成を期し製作所等であり。
- 弊社には自動車用冷却水ポンプ、潤滑油ポンプ、建設機械用産業機械用汎用水ポンプ、潤滑油ポンプ及び自動車ホイールブレイキ部品を製造しており、ポンプの総合メーカーでありその主な納入先は東京部品工業㈱、いすゞ自動車㈱、日産ディーゼル自動車工業㈱、三菱自動車㈱、川崎重工業㈱、(株)荏原製作所、東洋運搬機㈱、キャタピラー三菱㈱、(株)日立製作所等であり。

結 び

弊社は創業以来特に従業員教育に重点を置き、毎週土曜日に夜間学校を開校し、管理監督者コース、専門職コースの教育を行うと共に大学聴講制度、補助役制度を実施いたしてあります。又、従業員の厚生面にも重点を置き春には工場見学を兼ねた従業員慰安旅行、秋には従業員と家族の慰安池狩会を実施いたしてあります。

尚、第四期拡張時には三〇〇人収容の食堂を計画しております。

以上が弊社の一年有余の歩みの概要でございます。

教育と福利厚生

満70才以上の方は

医療費が無料

以上の方を対象に医療費の無料(自己負担分公費負担)を行なっておりますが、昭和四十八年一月一日から国が満七十才以上の方に対し無料で医師にかゝられるようになりました。該当者は役場へ申請書を提出し、老人医療費受給者証の交付を受けてください。医師にかゝる場合この医療費受給者証を提示いたしませんと全額自己負担となります。

交通事故から守ろう

歩行者を

年末、年始における交通環境の悪化に伴う交通事故の多発が予想されるので、県民一人一人が正しい歩行と安全運転を励行するとともに、とくに歩行者の交通事故を防止し、県民が明るい年末と楽しい正月を過せるようにすることを目的に歩行者の交通事故をなくす県民運動が次により実施されますが、これからは、積雪、凍結する時期に入りますので歩行者も運転者もお互に充分注意され交通事故を防止されるようお願い致します。

運動期間
昭和四十七年十二月二十日（水）から昭和四十八年一月八日（月）まで二十日間

主 唱
福島県、福島県交通対策協議会

議会 推進機関

福島県交通対策協議会、地方ならびに市町村交通対策協議会構成機関団体

重点目標

- 一、正しい歩行の励行
- 二、安全運転の励行

推進事項

- 一、正しい歩行の励行
歩行者の一人一人が、交通のルールをしつかりと身につけ、正しい歩行が実践できるように次の事項を推進する。
- (1) 家庭における安全教育の徹底
- (2) 歩道橋および横断歩道の利用
- (3) 愛の一声運動の推進
- (4) 道路環境の整理
- 二、安全運転の励行
歩行者の交通事故をなくす

再北海道の旅 溝井 一郎

濃紺色に見ゆる摩周の湖の色いめぐる山を底に写して濃紺色の中に神秘をかもすにや摩周の湖のおもて沈黙
阿寒湖をいめぐる山の山肌は赤くただれて湖の北
遊覧船の中に語らう方言に東北があり関西弁がある
田植など大方終る北見の国野良に働く人々見えす

立 冬

拙 郎

宇津峰にかかると銀河の濃かりけりかまきりの霜の葉陰におとろへし阿武隈の岩城岩代分つ雪湖の道の蘆の葉ずれの寒さかな庭師きて松のすがたのかわりけり牧のはて葛蔵ふ山に小鳥鳴く稲運ぶ村にもまれの馬車に積み空晴れて庭の石楠花返り咲き

ため、運転者の一人一人が歩行者保護、歩行者優先觀念をよく理解し次のことを推進する。

- (1) 歩行者保護の徹底
- (2) 安全な自転車の乗り方の励行
- (3) 車両の点検整備
- (4) 飲酒運転の追放

この飲酒運転の追放については年末年始において酒を飲む機会が多くなりますが



年賀はがきは取扱期間中に

住所宛名は明細はハッキリ、郵便番号もお忘れなく。

年末年始における少年の非行防止

◆こんなときは非行の芽ばえ

- 夜遊が多い。
- 知らない友達から連絡があるとコソコソ出かける。
- 買って与えた覚えのない品物とか、こづかいの範囲内で買えない品物を持っている。
- タバコ、マッチ、ライター

◆このようなときは早く本人

に注意するか、学校の先生や、少年の補導関係者、警察官に連絡し、幼ないうちに悪い芽をつみとりましょう。

健康管理を支える10本の柱

- 勤労者が、健康管理を行なうにあたってたいせつなことは、次の一〇項目で、これを健康管理をささえる一〇本の柱と考えています。
- ①健康診断を必ず受けよう
 - ②自分で健康状態をチェックしよう
 - ③生活リズムをつくらう
 - ④かたよらず栄養をとらう
 - ⑤じゅうぶん睡眠をとらう
 - ⑥運動不足を解消しよう
 - ⑦作業適応力の養成をはからう
 - ⑧家庭を心身のいいこの場に
 - ⑨つとめてレクリエーションを
 - ⑩生き甲斐を創造しよう

歳末たすけ あい運動に ご協力を!

恵まれない不幸な人たちもいっしょに楽しいお正月を迎えるために!

皆さんの暖かい善意を

お誕生おめでとう

ごさいます (十一月分の出生届書から)

部 落	出生児氏名	世帯主名	続柄
小 高	溝 井 みゆき	熊 十 孫	
中	鈴 木 聖 一	勝 利	
岩法寺	小 針 経 千 加	経 義 久 孫	
南須釜	小 原 久 典	義 久 孫	
吉	有 賀 カツ 子	嘉 雄	
四辻新田	塩 田 博 幸	征 二 郎 長 男	

ご逝去お悔み申し上げます (十一月分の死亡届書から)

部 落	死亡者氏名	年令	世帯主名	続柄
川 辺	熊 田 清 八 (75)		主	すみの夫
北須釜	草野サクミ (77)		今朝吉 妻	